

ママブルーのサイトに来ていただいている、KOMEさんの体験記3話目です。

### 3.息子との生活

3月31日に引き取り、4月1日からは保育園（2歳児クラス）にお世話になりました。

とても一人でやっていく自信はなかったので、しばらく平日は実家の母に泊り込んでもらうことにしました。

また、調子が悪くて掃除ができない時、特に水回りが汚れるとますます気分が落ち込むような気がしたので、家事援助などをしてくれるグループを保健婦さんから教えてもらって、週1回1時間半、時給を払って掃除に来てもらうことにしました。

もう、それからは必死です。

最初のうちは、毎日自転車で5分の保育園に送り迎えをすること、息子が家にいる時間の相手をするだけで精一杯、買い物や食事作り、掃除などは母にやってもらっていました。

それでも、息子と一緒に生活できるのは本当にうれしくて、体力はアップアップ状態でしたが、精神的にはずいぶんと安らぎました。

あと、体力を使うようになったせいか、睡眠薬を飲まなくても眠れるようになりました。

2ヶ月くらい経ってからは、母に泊まってもらう日数を少しずつ減らしていきました。

秋くらいには、調子が悪くなければ母に来てもらわなくても済むようになりました。

ただ、調子が悪くなるとすぐにヘルプ！の電話をかけて来てもらいました。

基本的に、一人で生活をまわすようになったとは言っても、その内容はほんとに最低限という感じでした。

掃除はほとんど週1回の家事援助の人頼みだし、洗濯も干さずに乾燥機、食事も朝はパンと牛乳、ヨーグルトのみ（これは今でも）。

夕食は買ってきたお惣菜づくし。息子が保育園に行ってる間、ずーっと寝ていて、でも夕食は食べさせないといけない、ということでコンビニ弁当を買ってくることもしばしば。

息子が家にいてもついつい寝てしまい、起きたら息子がひとりでハサミを使ってた、なんてことも日常茶飯事でした。

「こんなんでもいいのか？」という葛藤はしょっちゅうありましたが、その度に「今はしょうがない」と諦めることにしました。

生活がある程度軌道にのって、体調も少し整ってくると、ちょっと欲が出てきました。

「日中、ひとりで家にいるのは寂しいなあ、子供を通しての友達が欲しいなあ。」

そんな折、近所の人から

「幼稚園に入れるなら3歳からの方が入りやすいよ。」

と言われたり、うつとパニック障害を持ちながら二人の子育てをしている人と知り合って、

「私でも大丈夫なんだから、幼稚園に入れても大丈夫だよ。」

と言われたりで、次の年に保育園から幼稚園に転園させることを考えるようになりました。

最終的な決定をするのはギリギリまで待つとして、取りあえず幼稚園の申し込みをすることに決めました。元気なお母さんなら、いくつかの幼稚園を見て回って、自分の子にいいと思う幼稚園を選ぶのに、私の場合は、とにかく自分が一番楽な幼稚園を選びました。

だいぶ体調は落ち着いてきたものの、幼稚園に替わって果たしてやっていけるのかとても心配でした。

保育園の園長先生や役所の人に相談したりもしました。

保育園の園長先生は私の不安を取り除くようなアドバイスをしてくれ励ましてくれましたが、役所の人には

「一度保育園を辞めたらなかなか入れませんよ。心配なら無理して幼稚園に替えることないんじゃないですか。」

とあっさり言われました。

不安だけど今の状態から一歩前に前進したいって微妙な気持ち、なかなか理解してもらうのは難しいんですよ。

ギリギリまで悩んで、「何かあれば協力するから」という母の言葉で幼稚園への転園を決めました。

(続く)